

## 架空の議事録

日付: 2024 年 11 月 24 日

時間: 午後 1 時 00 分～午後 4 時 00 分

場所: 株式会社サンプルオフィス会議室 A

出席者: 小野 哲（司会）、楡木健太郎、佐藤花子、田中一郎、鈴木由美、山田翔太

### 1. 開会挨拶（司会: 小野 哲）

会議開始にあたり、小野 哲氏より挨拶が行われ、本日の議題について概要が説明された。

### 2. 議題 1: 新規プロジェクトの進捗報告

担当者: 楡木健太郎

- 現在進行中の「AI 搭載業務支援ツール」の開発進捗について報告。
- 機能開発は 80%完了、UI/UX デザインの最終調整を行っている段階。
- 年内のテスト導入スケジュールは予定通り進行中。
- 課題: ユーザーテストのフィードバック反映に時間を要している。
- 提案: プロジェクトに追加リソースを割り当て、課題解決を加速させる。

#### \*\*議論内容\*\*

- 佐藤花子氏: 「リソース追加については予算の調整が必要。そのため、まず具体的な人員計画を提示してほしい。」
- 田中一郎氏: 「優先順位を再設定し、開発中の一部機能を次期リリースに回す案も検討するべき。」

結論: リソース案を次回会議で再提出。優先順位の見直し案も並行して検討する。

### 3. 議題 2: オフグリッド事業の今後の方針

担当者: 田中一郎

- 地域自治体との連携による新規事業モデル提案が進行中。
- 具体案として「地域限定のエネルギーシェアリングサービス」の実施可能性を説明。

#### \*\*議論内容\*\*

- 鈴木由美氏: 「自治体との契約内容に不透明な点があるため、詳細を詰める必要がある。」

- 小野 哲氏: 「実証実験のための資金調達方法についても具体案を準備すべき。」

結論: 提案内容を具体化し、次回までに自治体との協議を進める。

#### 4. 議題 3: 社内教育プログラムの改善案

担当者: 鈴木由美

- 新しい社内研修プログラム「AI リテラシー基礎講座」の試行結果について報告。
- 参加者からの満足度調査で高評価を獲得。
- 改善点: 質問対応時間の短縮と資料の簡略化が必要。

**\*\*議論内容\*\***

- 佐藤花子氏: 「次回講座ではハンズオン形式を強化し、実践的内容を増やすと良いのではないか。」
- 田中一郎氏: 「講座後のフォローアップシステムも構築すべき。」

結論: 改善点を反映した再設計案を提出予定。

#### 5. 議題 4: 社内システムのセキュリティ向上計画

担当者: 山田翔太

- 最近発生した内部情報漏洩のリスク評価結果を報告。
- セキュリティプロトコルの見直しと全社員向けのセキュリティ研修を提案。
- 社内ネットワーク監視システムのアップグレードを検討中。

**\*\*議論内容\*\***

- 楡木健太郎氏: 「監視システムの費用対効果を明確化し、導入計画を詳細化する必要がある。」
- 鈴木由美氏: 「研修内容に具体的なケーススタディを取り入れるべき。」

結論: 提案内容を整理し、次の会議で詳細な計画を提出。

#### 6. 議題 5: 次年度予算案の初期検討

担当者: 小野 哲

- 各部署から提出された予算案の概要を共有。
- 投資優先順位を確定するため、全体目標を再評価する必要がある。

**\*\*議論内容\*\***

- 山田翔太氏: 「次年度は技術投資を優先する方針で一致しているが、営業強化への割り当ても重要。」

- 佐藤花子氏: 「マーケティング予算を増額することで、競争力を高められる可能性がある。」

結論: 詳細な予算配分案を 12 月上旬までに策定する。

## 7. 次回会議について

日付: 2024 年 12 月 8 日

時間: 午後 1 時～午後 4 時

場所: オフィス会議室 B

## 8. 閉会挨拶

司会の小野 哲氏より、本日話し合われた内容を元に、各担当者が次回までに必要な準備を進めることを確認し、会議を終了した。